

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report

令和3年(2021)02.01 vol.65



Contents

02	【新春特集】私の決意
04	11月臨時会議案審議
05	12月定例会議案審議
06	新型コロナ関連議案
07	11月臨時会・12月定例会議決結果一覧表/意見書一覧表
08	常任委員会報告
11	代表質問
14	一般質問/市の考えを問う
22	【特集】高校生モニター会議
24	あなたとつなぐ・市議会議員紹介vol.11

PHOTO 〔市内雪景色のワンシーン「雪だるま」〕

新年の抱負

の意

凜風会

情報発信と市民との対話、市民参加により、市民に信頼され存在感のある議会を目指します。今年の一字を「健」とし、市民の「健康」と子どもたちの「健やかな」育ちをめざし、市民福祉の向上と市の発展に努めます。



議長 橋本 恒典

公明党

市民の声を聴き市政に活かせるように、誠実に地道に頑張ります。



堀 郁子
厚生文教常任委員
広報特別委員

日本共産党

平和を未来につなげるために、いのちと暮らしを守るために力を尽くします。



岡田 重美
予算決算常任副委員長
厚生文教常任委員
広報特別委員

無所属

信ずるところに道は通ずる。皆様の光明を信じ、使命を果たします。



糸目 仁樹
産業建設常任委員
広報特別委員
公立甲賀病院組合議員

志誠会

拡大から縮小の時代へ。継続すべき事、作り替えていく事。勇気を持って決断したい。



小河 文人
志誠会会派長
産業建設常任委員
議会運営委員
甲賀広域行政組合議員

公明党

コロナ禍というかつて経験のない時代。誰一人取り残さないとの覚悟で。



田中 將之
公明党甲賀市議会団会派長
予算決算常任委員
総務常任委員
議会運営委員

日本共産党

自助、共助でなく公助こそが政治の責任。市政でもこの立場でがんばります。



小西喜代次
産業建設常任副委員長
議会運営委員
公立甲賀病院組合議員

無所属

2期目最後の年になりました!! ウイズ/アフターコロナでSDGsを実践しよう。



竹若 茂國
厚生文教常任委員

凜風会

3期の経験を活かし誠心誠意、新しい視点で魅力ある甲賀の未来を拓きます。



谷永 兼二
厚生文教常任委員
議会運営委員

公明党

自粛から希望の一年となりますよう、公僕としての使命を全うして参ります。



白坂萬里子
産業建設常任委員

日本共産党

新聞記者の経験生かし、要求実現へ粘り強く一步一步前進へ。



山岡 光広
日本共産党甲賀市議会団会派長
総務常任委員
広報特別委員
甲賀広域行政組合議員

無所属

二元代表制の下、市政を精察し質していくという基本ミッションを貫徹する。



鵜飼 勲
産業建設常任委員



副議長 戎脇 浩
厚生文教常任委員
公立甲賀病院組合副議長

志誠会

議会を代表する立場の一人として、いかに市民の皆様のお役に立つか、その一点につきます。また議会運営の要として、「副」が議長を補佐することの大切さを忘れず、より市民の皆様に近い議会になるための努力を重ねて参ります。

2021年
私
決

凜風会



西村 慧
総務常任委員
広報特別委員

現在そして未来の甲賀の為、初心を貫きエネルギーに責務を果たします。

志誠会



山中 修平
厚生文教常任委員長
甲賀広域行政組合議員

素人目線、住民目線、民間目線こそが大切であると肝に銘じて活動します。

志誠会



里見 淳
総務常任委員
広報特別副委員長

人口減少、アフターコロナの時代をしっかりと見据えて頑張ります。

凜風会



山中 善治
厚生文教常任副委員長
議会運営委員
公立甲賀病院組合議員

非農家の皆様に、市民農園による豊かな田舎暮らしを提供してまいります。

凜風会



林田 久充
凜風会会派長
総務常任委員
議会運営委員
甲賀広域行政組合議員

情報提供に留意し、政策の課題から提案まで市民の皆さんと共有します。

凜風会



田中 喜克
総務常任副委員長
広報特別委員
公立甲賀病院組合議員

人は人に育てられて、初めて人になる。先人のことばを胸に、この1年を…。

志誠会



森田 久生
総務常任委員長
議会運営副委員長

議会壇上に送っていただき丸7年。忘れることなく「真面目に・愚直に・丁寧」に

凜風会



橋本 律子
産業建設常任委員
議会運営委員

今一度、見えない価値を考える良い年に！戻そう・築きたい大切にしたい絆。

凜風会



辻 重治
総務常任委員
甲賀広域行政組合議長

名神名阪連絡道路の重要物流道路指定に向け、強く要望活動を展開します。

凜風会



土山 定信
産業建設常任委員

コロナ感染症の影響で困っている方の役に立てる議員でいたい。

凜風会



田中 新人
産業建設常任委員
広報特別委員長

住みたい、住んでよかった、住み続けたい甲賀市を市民目線に立って進めます。

11 月臨時会議案審議

PICK UP 1

議案第110号 一般会計補正予算(第6号)

地場産業伝統工芸品購入補助金 (宿泊事業者対象)

新型コロナウイルス感染拡大により、大打撃を受ける宿泊事業者を応援する補助金です。これは県の「近江の地場産品購入によるおもてなし向上事業費補助金」(下段に解説)に、市も上乗せをするものです。補助の対象者は、この県の補助金を受けて信楽焼の装飾品、調度品(感染症対策にかかる物品)、食器など接客の為に使用する物品を購入した宿泊事業者です。自己負担額の更に半分を市が補助するものです。ただし、最大40件、一者あたり16万6千円が上限です。この補助金は宿泊事業者の支援に加え、新型コロナウイルス感染拡大で売り上げが落ち込む信楽焼の販売促進の効果、ひいては地域経済の復興に繋がることが期待できます。

主な質疑

Q 県の上限80件に対し半分の40件を甲賀市が取り込むことになるが、県は了解しているのか。



甲賀市の地場産品 信楽焼

賛成で可決

討論・採決 討論はなく、全員

A 県発行の交付要綱に財産処分についての記載があり、これを公表することにより、PRと同時に抑止になると考える。

A 40件が取れば甲賀市に5千万円弱の経済効果が見込める。甲賀市の熱意を伝え県から了解を得た。
Q この補助金は、販売品の購入は対象にしていけないが、購入品を転売することへの抑止と監視はどうするか。

参考

県による補助金

近江の地場産品購入による おもてなし向上事業費補助金

制度の目的

近江の人々の生活に密着し受け継がれて来た地場産品と宿泊事業者を一体的に支援するために、宿泊事業者が滋賀らしいおもてなしを目的に近江の地場産品を購入する経費を補助すること。

補助対象事業者

滋賀県内で宿泊施設(旅館業法第3条第1項に規定する許可を受け、旅館業法第2条に定めるホテル営業、旅館営業にかかる施設)を営業する事業者。

補助対象

近江の地場産品(地場産業製品、伝統的工芸品、びわ湖材、琵琶湖産淡水真珠)をおもてなしのための装飾品、調度品、食器等として使用するために購入する経費。

【条件】

① 食品や宿泊者に対し配布する物品の購入は対象外。



本補助金のイメージ図

- ② 令和3年2月26日までの納品、代金支払い完了の上、実績報告が必要。
- ③ 送料も補助対象。
- ④ いずれも設置料・消費税および地方消費税は補助対象外。
- ⑤ 1者あたり上限100万円、下限1万円。

12 月定例会議案審議

PICK UP 2

議案第123号

子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定

水口子育て支援センターにて
「病児保育」を新設

現在、水口子育て支援センターで「病後児保育」が実施されていますが、4月から「病児保育」を加えて「病児・病後児保育」が実施されることになりました。「病児保育」は、仕事を休めない親や家族等に代わって、病気の回復に至らないが病状が安定している児童を保育することです。しかし、制度化にあたっては、運用方法もしっかりと事前に整備する必要があります。いくつかの確認がなされました。

主な質疑

Q 「病児保育」利用対象年齢は。

A 生後6か月～小学校2年生までを対象と考えている。

Q 「病児保育」利用料金は。

A 1日利用の場合では、3歳未満児は2800円、3歳児は1400円、4歳児以上は1200円とし、4時間以内で利用の場合は、いずれも、その半額とする予定。

Q 「病児保育」の利用手続きは。

A まず、はじめに「事前登録」を行っていただき、利用の流れや利用の際に必要な連絡票などの説明を行う。利用の際には、事前電話連絡の後、主治医作成の「医師連絡票」、「家庭からの連絡票」及び「薬剤説明書」をご持参いただく予定。利用予約については、当日朝の受付も可能とする考えだ。

Q 「病児保育」の場合、なによりも大事であるのは、医療連携であるが、どうなる予定か。

A 市内小児科医と医師連携契約を結ぶ予定である。また、保育中の様子に変化があった場合には、医師への電話相談に加え、ビデオ通話など映像により、小児科医に確認いただける方法を検討している。

討論・採決

討論はなく、全
員賛成で可決



子育て支援センター

PICK UP 3

議案第136号 辺地に係る総合整備計画を定めること

土山町鮎河地域に
安全・安心の地域拠点を整備へ

旧鮎河保育園をリニューアルし、鮎河地域市民センター等の機能を移転するとともに、消防車庫・詰所を集約したうえで安全及び安心の地域拠点として（仮称）鮎河地域コミュニティセンターを整備する計画が進められています。その際、「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、総合整備計画を定めることで、国から本市に対して、財政上の特別措置を受けようとするものです。

主な質疑

Q 今回、鮎河地域が指定されたが、旧鮎河小学校校区全体を指すのか、地域指定のエリアはどこか。

A 整備を予定している（仮称）鮎河地域コミュニティセンターは、主に旧鮎河小学校校区の住民による利用を想定する施設であり、土山町大河原、土山町鮎河が指定エリアとなっている。

Q 事業費が1億円となっている

が、起債対象事業費の限度額なのか、施設整備計画とおおよその積算が根拠にあつてのことか。

A 現時点においては、設計中であるため、概算事業費の1億円を起債対象事業費の限度額として計上している。

Q 今後のスケジュール及び地元との協議状況は。

A 令和2年度から令和4年度までの3年間を事業期間とし、令和4年度中には供用開始をしたい。地元との協議については、跡地活用検討委員会において、議論を進めてきた。

討論・採決

討論はなく、全
員賛成で可決



旧鮎河保育園

新型コロナ関連補正予算(議案第127号)

修学旅行キャンセル料等

447万1千円

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から発生した市内小中学校で修学旅行内容の変更、キャンセル料等を負担するものです。修学旅行対象小学校20校中6校、中学校6校において行き先変更や日程短縮によりキャンセル料等が発生しました。

主な質疑

Q 今後キャンセル料を生み出さないための教育委員会の考え方はどうか。

A 来年も修学旅行は実施する予定だが、子どもの安全を最優先にしつつも、キャンセル料の伴わない形の判断を早めにする必要がある。



変更を余儀なくされる修学旅行

コミバス混雑度情報可視化

153万9千円



混雑度がわかるコミバスに

コミュニティバス車両の「密」の予防のため、混雑状況発信システムを導入し、新型コロナウイルス感染症の影響によるバス乗車人員の減少に歯止めをかけ、利用者の回復を図ることを目的としています。事業概要としては、コミュニティバス運行事業者が実施する「バスの混雑度をリアルタイムに専用アプリで確認できる機能構築事業」に対して、総事業費の一部を市が補助するものです。

また、今年度中に導入を進めている「乗降センサー整備事業」はバス停の乗降者数の管理システムですが、改造することで混雑度可視化機能が追加できるため、その経費として当該費用を計上するものです。

感染防止対策備品購入

51万1千円



サーモグラフィカメラ (※イメージイラスト)

一法人からいただいた新型コロナウイルス感染症くらし・経済対策寄附金を財源として、公民館、図書館及び体育館に感染防止対策備品を購入することを目的としています。事業概要は次の通りです。

- ・非接触型サーモグラフィカメラ3台
- 〈水口体育館、甲南B&G海洋センター、信楽体育館〉
- ・足踏み式消毒スタンド12基
- 〈図書館(5館)、公民館等(5館)、岩上体育館、甲南体育館〉

生活困窮者自立支援事業

122万円

新型コロナウイルス感染症により住居を失った、又は、失う可能性がある方に住居費を支給します。



指定管理業務継続支援

1171万6千円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている公の施設の指定管理者に対し、施設管理経費不足分を支援します。

11月臨時会・12月定例会議案審議・意見書

11 月臨時会議案の審議結果

	全員賛成で可決・同意した議案
令和2年度補正予算	一般会計補正予算(第6号)
人事	公平委員会委員の選任 監査委員の選任(2件)

12 月定例会議案の審議結果

	全員賛成で可決・同意した議案
令和2年度補正予算	一般会計補正予算(第7号)
	一般会計補正予算(第8号)
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	介護保険特別会計補正予算(第2号)
	病院事業会計補正予算(第3号)
	水道事業会計補正予算(第1号)
	診療所事業会計補正予算(第2号)
	介護老人保健施設事業会計補正予算(第2号)
	下水道事業会計補正予算(第1号)
条例の廃止	シルバーワークプラザ条例
条例の一部改正	議員の議員報酬等に関する条例
	特別職の職員の給与等に関する条例
	公告式条例及び財政事情の作成及び公表に関する条例
	督促手数料及び延滞金徴収等に関する条例等

条例の一部改正	行政財産使用料条例
	国民健康保険税条例
	児童クラブ条例
	子育て支援センター条例
	デイサービスセンター条例
人 事	農業集落排水処理施設条例
	教育委員会委員の任命
その他	辺地に係る総合整備計画を定めること
	指定管理者の指定(42件) コミュニティセンター2件(水口東部、水口北部)、福祉ホール、すこやか荘、碧水荘、フィナンソ土山、佐山荘、児童クラブ9件(水口、綾野、貴生川、伴谷、伴谷東、柏木、土山かしきや、大野、油日)、農村環境改善センター、リップル"Cha-Cha"、甲賀もちふる里館、あけびはら山の子はうす、四季菜館、柞原会館、雲井地区農村活性化センター、信楽産業展示館、土山自然休養村管理センター、かもしか荘・あいの土山都市との交流センター、勤労青少年ホーム・共同福祉施設、水口スポーツの森・野洲川河川公園等、甲賀中央公園、鹿深夢の森、あいの丘文化公園、あいの森ふれあい公園・青土ダムエコーパレイ、ブルーリバーパーク、やまびこ公園、あいの土山文化ホール、土山体育館、土山室内運動場、土山運動場、土山テニスコート、甲賀B&G海洋センタープール、水口城資料館、旧水口図書館

	賛成多数で可決した議案
条例の一部改正	職員の給与に関する条例等

○：賛成 ●：反対

意見書 議決結果

意見書 議決結果																												
議案等の名称	提案者	討論		凜風会							志誠会							日本共産党 甲賀市議員団				公明党 甲賀市議団			糸目 仁樹	竹若 茂國	鶴飼 勲	結果
		反対	賛成	西村 慧	田中 喜亮	林田 久充	山中 善治	橋本 恒典	谷永 兼二	田中 新人	土山 定信	辻 重治	橋本 律子	里見 淳	山中 修平	戎脇 浩	小河 文人	森田 久生	岡田 重美	小西 喜代次	山岡 光弘	堀 郁子	田中 將之	白坂 萬里子				
「桜を見る会」と前夜祭を巡る疑惑の徹底説明を求める意見書	山岡	小西	小西	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	可
日本学術会議会員任命拒否の撤回を求める意見書	山岡	里見	岡田・竹若	●	○	●	●		●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否	
核兵器禁止条約の発効をふまえて唯一の被爆国日本政府が、速やかに核兵器禁止条約に署名・批准し、核なき世界の実現の先頭に立つことを求める意見書	岡田	堀	竹若・小西	●	○	●	●		●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否	
要介護者の受給権に関わる重大な「省令改正」の撤回を求める意見書	岡田	田中喜	山岡	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否	
福島原発汚染水を海洋放出しない決定を求める意見書	小西	田中喜	山岡	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否	
新型コロナウイルス感染の爆発的拡大を防止するため、「検査・保護・追跡」の抜本的強化を求める意見書	小西	山中修	岡田	●	○	●	●		●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否	

議長のため採決に加わらない

総務常任委員会 日誌



左から（前列）副委員長 田中喜克 委員長 森田久生（後列）里見淳・田中将之・山岡光広・辻重治・西村慧・林田久充
総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

■10月23日

第2次甲賀市総合計画（第2期基本計画）策定方針の変更・令和3年度予算編成に向けた基本的な考え方

■11月11日

第2次甲賀市総合計画（第2期基本計画）（案）

■11月24日

第2次甲賀市総合計画（第2期基本計画）（案）・消防団組織再編計画（素案）・消防施設長寿命化計画（素案）

■12月17日

公告式条例及び財政事情の作成及び公表に関する条例の一部改正・督促手数料及び延滞金徴収等に関する条例の一部改正・行政財産使用料条例の一部改正・辺地に係る総合整備計画を定めること等



第2次甲賀市総合計画（第2期基本計画）策定方針の変更

10月23日以降4回にわたり委員会を開催し、第2次甲賀市総合計画（第2期基本計画）を中心に所管事務調査を行いましたので、その内容についてお伝えします。

策定方針変更趣旨

甲賀市総合計画は平成29年度から令和10年度までを期間とする「基本構想」の下、1期4年（3期12年間）の基本計画、実施計画をもって推し進められています。

今回、第1期基本計画の成果と課題を検証するとともに、新型コロナウイルス感染症に伴う、社会状況の変化に対応する計画に変更するものです。

策定変更のポイント
計画重点施策「プロジェクト10」の見直しを重視するとともに、計画の中心を第1期基本計画に引き継ぎ「地方創生及び人口減少対策」とし、まち・ひと・しごと創生総合戦略として位置付ける。

● 新型コロナウイルス感染症により、多元多層の市民参画が困難な状況であるため、特に審議会や議会から意見を求め策定を進める。

● 実施計画（具体的な事務事業）は令和3年度予算編成過程に合わせ、令和3年3月に骨格を策定し、7月目途に最終策定をする。

● 議会での意見聴取も、所管・総務常任委員会審議だけでなく、分野ごとに、厚生文教・産業建設常任委員会から意見を求めることとした。

● 分野別計画の策定・見直しは、基本計画の策定後に着手する。策定までの間は、現行の分野別計画の期間延長で取り扱う。

令和3年度予算編成の基本的考え方

編成基本方針

● 第2次総合計画基本計画を踏まえた予算。

● アフターコロナを見据えた「新たな日常」の実現に取り組む予算。

● 財政計画に基づく健全な財政運営の確立、とりわけ「公共施設等総合管理計画」に基づいた施設の最適な配置を重視する。

予算編成具体的方策

● 「枠配分方式」の一部変更
● 財源不足の対応方針

厚生文教常任委員会

日誌



左から（前列）副委員長 山中善治 委員長 山中修平 （後列）戎協浩・竹若茂國・堀 郁子・岡田重美・谷永兼二
市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

■10月20日

通学路安全対策事業進捗状況、健康づくりに関する取り組み

■11月18日

あいみらい保育園現地視察、第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画(案)、第3次障がい者基本計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画(案)等

■12月15日

診療所事業会計補正予算、デイサービスセンター条例の一部改正、子育て支援センター条例の一部改正等

通学路安全対策事業進捗状況

Q 通学路危険箇所の把握と選定の方法は。

A PTA、おうみ通学路交通アドバイザーの協議を経て危険箇所を挙げてもらっている。優先順位の高い2箇所について当該年度点検を行い基本は次年度に対策。緊急度を判断し当年度にも実施する。

健康づくりに関する取り組み

地域での健康づくり事業、いきいき農園事業などの健康寿命を延ばそう事業が平成29年より取り組まれています。

Q モデル事業で開始前と開始後の健康数値が比較できると良いが。

A 令和2年

度から、歯科衛生士を雇用し、過去に誤嚥性肺炎のある人を抽出し、訪問や医師と連携し危険度を減らす取り組みを進める。



健康推進員指導による体操

あいみらい保育園現地視察

旧甲賀病院跡地に建設されたあいみらい保育園を視察しました。令和2年4月から開園されており、6か月から5歳児まで約240名の園児が通っています。



あいみらい保育園ロビー

第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画(案)

Q 介護人材確保についての考えは。

A 介護人材確保定着推進協議会と連携して進めたい。職業として選んでもらえるよう大学や学校での出前講座なども考えたい。

デイサービスセンター条例の一部改正

甲賀市デイサービスセンターの建物を社会福祉法人湖東会に無償譲渡、また、老朽化などにより碧水荘デイサービスセンターを令和3年4月に閉鎖するため改正するもの。採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決定。

Q 碧水荘の建物は今後どのようにするのか。

A デイサービスセンター廃止後も、老人福祉センターの機能は残るため建物は存続する。しかし、老朽化もあり、老人福祉センター機能移転を探っていく。

診療所事業会計補正予算

9月補正でみなくち診療所の外にユニットハウスを建てるとされましたが、安価な陰圧テントへ切り替えることの説明があり、採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決定。

みなくち診療所で日曜診療開始

令和3年1月10日より日曜診療が実施されることが報告されました。診療科目は内科、診療開始時間は、午前9時から午後2時からです。

産業建設常任委員会 日誌



左から(前列)副委員長 小西喜代次 委員長 橋本律子(後列)土山定信・鶴飼 勲・田中新人・小河水人・白坂萬里子・糸目仁樹
産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。

■ 10月6日

甲賀都市計画区域における区域区分(線引き)の見直し、貴生川駅周辺特区構想にかかるパブリック・コメントの実施等

■ 11月17日

第2次甲賀市総合計画(第2期基本計画)(案)について、甲賀流リアル忍者館の現状及び整備状況等

■ 12月16日

近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗、令和2年度甲賀市水道事業・下水道事業会計補正予算等



10月以降の委員会で取り組んだ所管事務調査で、主だったものをお伝えします。

近江鉄道沿線地域 公共交通再生協議会関連

経営難に陥った近江鉄道について、県及び沿線市町による「近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会」への提案内容が決まりました。令和6年度から公有民営(上下分離)方式へ移行し、令和3年度から令和5年度までは割引切符等の導

入、乗り継ぎ改善、ICOCA導入などキャッシュレス化による運営改善と準備移行の期間とする提案内容の報告を12月16日の委員会にて受け、翌17日の協議会で提案されました。

甲賀市を含む沿線市町にとって、近江鉄道は重要な公共交通機関であり、近江鉄道の存続と利便性向上はこの地域の深刻な人口減少に一定の歯止めになると期待されます。

甲賀流リアル忍者館の 現状と今後

■ 来年度以降のプララ周辺を整備する第2次整備計画は。

■ 忍者を核とした観光拠点整備基本計画を基本として調査検討設計業務を進める予定が、新型コロナウイルス感染症の影響で検討会が開けず設計業務に至っていない。

■ 基本計画の外壁工事は。

■ 忍者の意匠の大きな懸垂幕を何種類か用意して季節によって変える考えた。

■ オープンして半月が経つが誘客は予定通りか。



■ 入込客数は早い段階から営業していたため、2万人くらいの来館期待で今のところ順調である。

甲賀市都市計画区域区分 「線引き」の見直し

- 甲南町竜法師地区
- 忍者を核とした観光振興の拠点形成を図るため。
- 水口町北脇地区
- 国道1号線北側沿道で商業等の充実を図るため。
- 水口町虫生野地区
- 貴生川駅周辺の拠点機能の強化を図るため。

各会派による 代表質問

目次

令和2年11月26日

令和2年 第6回甲賀市議会定例会代表質問

順番	氏 名 (会派名)	質 問 事 項
1	小 河 文 人 (志 誠 会)	1 新しい豊かさについての方向性 2 市長が新たに掲げた「選ばれるまちづくり」実現のための政策、7つのチャレンジからの具体策を問う
2	白 坂 萬里子 (公明党甲賀市議団)	1 所信表明ならびにマニフェスト(政策集)から 2 本市の当面する課題について
3	やま おか みつ ひろ 山 岡 光 広 (日本共産党甲賀市議員団)	1 国政の焦点と市長の政治姿勢について 2 新型コロナ危機からいのちと暮らしを守り、経済を立て直すことについて 3 「新しい豊かさ」「選ばれるまちづくり」とは何か 4 新年度予算編成のポイントについて 5 少子化対策と高齢化対策について 6 区・自治会と自治振興会のあり方について 7 人口増となっている外国人について 8 道路網・交通網の整備について
4	つじ しげ れい 辻 重 治 (凜 風 会)	1 「新しい豊かさ」とは、何を意味し何を求めるのか伺う 2 「選ばれるまちづくり」のターゲットと手法のイメージを問う 3 新型コロナウイルス対策について伺う 4 オール甲賀で未来につなぐチャレンジについて伺う 5 令和3年度予算編成に向けた考え方について伺う

各会派による代表質問は、予算案を審議する3月定例議会と市長選後の12月議会に行われます。持ち時間は、基本の30分と議員数に応じて一人3分が加算されます。よって凜風会は60分、志誠会は45分、日本共産党と公明党は、39分となっています。

■答弁者の凡例		危機・安全管理統括監	危機統括監	総合政策部長	総政部長
総合政策部理事	総政理事	総務部理事	総務理事	市民環境部長	市環部長
健康福祉部長	健福部長	こども政策部長	こ政部長	産業経済部長	産経部長
上下水道部長	水道部長	教育委員会事務局理事	教育理事		



広報広聴でなにを伝え なにを聴くか

「広報・広聴の機能を発揮するしくみとデザインを考える」をテーマで、龍谷大学政策学部の土山希美枝教授を講師に10月29日、議員研修を行いました(写真)。

市民にとって議会とはなにか、市の政策形成に市民がどのような形で参加していくのか、議員活動・議会活動の役割などについて、各地の先進的な事例をふまえて学びました。甲賀市議会でも、今後「広聴」のあり方について、より具体的に検討してまいります。



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



ポストコロナは地方の時代

志 誠 会
小河 文人



ポストコロナ時代を 迎えての想い

◎ポストコロナに向かって、新しい豊かさの考え方、方向性について問う。

市長 「新しい豊かさ」について考える際、ICTなどの技術を取り入れながらも豊かな自然が近くにあり、街並みがセンス良くデザインされていて、人々が絆を感じながらのびのびと育ち、大きなス



トレスを感じることなく豊かに暮らすことができる、そのような贅沢さがある、言わば幸福度が高いとされている北欧のようなまちづくりをイメージしている。

◎長期財政計画と連動した公共施設の見直しについて問う。

市長 縮減目標を達成していくためには、計画した取り組みを着実に実践していくとともに、学校再編の統合校についても、施設の最適化に向けた取り組みをする。

◎市民、事業者に寄り添う、きめ細かな新型コロナ対策について都市部への一極集中から地方分散型社会構築について問う。

市長 本市が持つ豊かな自然環境とスマートシティによる暮らしの質の向上、都市部へのアクセスメリットを活かす施策を一体的に進めることで、他の自治体との差別化を図り、全国数多くある自治体の中から「選ばれまち」となる取り組みが第一歩と考える。

公 明 党
白坂萬里子



「新しい風」に 込められた想いとは

◎合併特例債もピークを迎え、コロナ後の予算編成の計画は。

市長 ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、事業の再構築と歳入・歳出両面にわたり行財政改革に取り組む。

◎健康寿命延伸に、コミバス・コミタクを70歳から無料にしては。

市長 扶助費の増大や利用者負担の観点も含め、引き続き検討していく。

◎分散型社会のニーズに添い、選ばれる町として、全国へ発信しては。

市長 地方移住が進む中、豊かな本市の魅力を発信し人口増へ繋ぎたい。

◎市長が考える、女性活躍の必要性をどのように捉えているか。

市長 性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮し、活躍するこ

とが多様性のあるまちづくりに繋がると考える。

◎市高齢者・障がい者・自治区未加入者のゴミ出しは深刻な問題。地域との協力によるゴミ出し支援制度は。

市長 喫緊に取り組まなければならない課題と認識している。地域の理解と協力をもらい、早期に確立し示していく。



◎観光ルートにおける公共施設や道の駅トイレを和式から洋式へ。

市長 東海道散策の起点となる「道の駅あいの土山」「土山中央公民館」は早い時期に整備・改修していく。

◎終了した「無料法律相談」の今後の方向性は。

健康部長 今後も包括的な相談支援体制の構築に努める。





QRコードで質問の録画が見られます。

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

共産党
山岡 光広



コロナ感染防止へ PCR検査拡充を

◎PCR検査は戦略的・大規模に、医療や介護、学校等リスクが高い施設は社会的検査を、医療機関への影響、減収補てんは国の責任で、市役所庁舎内にもアクリル板の設置を。

◎市長 検査体制の充実が必要。社会的検査は国の指針に沿って拡充が図られるよう県の対応を注視。

◎健福部長 信楽中央病院は昨年比で4200万円の減収、最終は7千万円の減収見込み。減収補てんは、国や県の補助制度や融資を活用。

◎総務理事 アクリル製飛沫対策用パーテーションを購入、順次設置。

◎30人以下学級実現するには。

◎教育部長 11小学校で35学級、4中学校で11学級増やす必要があり、教室・職員の体制が必要。

4軒に1軒が
独居高齢世帯



65歳以上独居世帯数

	65歳以上	75歳以上
水口	3,543	1,889
土山	939	545
甲賀	1,134	680
甲南	1,890	1,032
信楽	1,489	876
市計	8,995	5,022

◎子どもに係る国保の均等割軽減、中卒までの医療費無料化、「出産祝い金」制度創設を、給食費の負担軽減、待機児童対策拡充を。

◎市長 子どもに係る均等割軽減は、県の首長会議でも大きな課題であると認識している。

◎市内4世帯に1世帯が65歳以上の一人暮らし世帯。単位老人クラブに直接支援を、緊急通報システム要件の緩和を、特養施設増設・介護保険利用料の軽減を。

◎市長 緊急時に適切に対応できるシステムの充実が不可欠。



凜風会
辻 重治



これから4年間の 市政運営を伺う

◎選ばれるまちづくり、とは誰に選ばれるのか。

◎市長 市民の皆さんに、住んでよかった、住み続けたい。と感じていただき、お金や物に依存する価値観だけでなく多様な生き方、新しい働き方、家族の在り方などを包み込んだ、新しい豊かさを追求した施策を進めることが「選ばれるまちづくり」と考える。

◎甲賀市におけるコロナウイルス対策のポイントは何か。

◎市長 3密の回避と社会的距離の確保、マスク着用、手洗いを徹底した基本的な意識啓発。

クラスターの発生を教訓に医療機関や介護施設、学校、保育園等で警戒感強化と消毒液など資機材備蓄を行う、感染防止対策は大変重要である。

また、社会経済活動を維持し、市民や事業者の皆様の暮らしや生

業を応援し、対応する。

◎未来につながるチャレンジで持続可能なまちづくりとは。

◎市長 区、自治会や地域の様々な関係団体が連携、協力することで地域の課題解決や魅力の向上に取り組み、防災防災、健康長寿、子育てと教育支援など地域に住むひとが地域課題を自ら解決する小規模多機能自治に繋がる取り組みである。

◎令和3年度予算編成に向けた考えは。

◎市長 新型コロナウイルス感染症が市民生活、市内経済に大きな影響を及ぼしており、厳しい財政状況であるが、市民サービスは低下させない。



人が繋がるまちに

議員は選挙区内にお中元やお歳暮を出すことが禁止されています。



19人の市議員が市の考えを問う

令和2年

12月9日・10日・11日・14日

目次

令和2年 第6回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

順番	氏 名	質問事項	順番	氏 名	質問事項
1	えびすわき 戎脇 ひろし 浩	1 水道事故から何を学ぶか 2 随意契約に工夫がなされているか	11	おかだ しげみ 岡田 重美	1 認知症の人も家族も安心して暮らしていくために 2 コロナ禍により浮き彫りになったジェンダー平等について 3 土山公民館の洋式トイレ化の実現を 4 「結婚新生活支援事業」を導入し新婚世帯の支援を
2	たなか よしかつ 田中 喜克	1 貴生川小学校児童の安全通学路確保に必死の声。杉川に歩行者専用橋の至急整備を。 2 甲賀市の魅力「水・緑多き自然」を守るため 先駆けて取り組むは「市の環境施策」では 3 独立行政法人・公立甲賀病院の今後と市内公立医療機関の統合経営について 4 公共施設の再編・活用の現状及び、既存施設の管理、再整備について	12	はしもと りつこ 橋本 律子	1 コロナ禍から見えた地域共生社会のありかたについて 2 ICT・オンラインの活用推進について
3	もりた ひさお 森田 久生	1 未来を担う子や孫たちに過度な負担を残さないために	13	つちやま さだのぶ 土山 定信	1 甲賀市の幼保・小中再編計画について 2 甲賀市の医療関係の新型コロナ対策の備品等の整備状況について 3 滋賀県の東の玄関である土山町について
4	うかい いさお 鵜飼 勲	1 行政における説明責任の確保及び透明性について	14	やまなか しゅうへい 山中 修平	1 「道の駅あいの土山」の営業力強化について
5	いとめ まさき 糸目 仁樹	1 稲作農家所得向上にもみ殻ビジネスを 2 リアル忍者館を時代劇撮影の聖地に	15	はやしだ ひさみつ 林田 久充	1 甲賀市まちづくり基本条例と区、自治会および自治振興会の位置づけについて 2 貴生川駅周辺特区構想の考え方について
6	たになが けんじ 谷永 兼二	1 コロナ禍の児童虐待発生予防・早期発見について 2 温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロにする取り組みについて 3 スケートボードパークの設置を	16	やまなか よしはる 山中 善治	1 「便利な田舎暮らしについて」 2 甲賀市薬用作物産地化推進事業について
7	たなか あらと 田中 新人	1 北泉地域の街路灯と防犯対策について 2 甲賀市農業問題について 3 行政手続きにおける押印の廃止について	17	さとみ あつし 里見 淳	1 関係人口を増やすには
8	ほり いくこ 堀 郁子	1 介護サービスについて 2 道路異常通報システム 3 防災・減災について 4 子育てアプリを使っの支援	18	こにし きよつぐ 小西喜代次	1 新型コロナウイルス感染拡大防止の抜本的対応を 2 コロナ禍のもとで事業の維持、地域経済を持続可能にする支援策を 3 第二期滋賀県国民健康保険運営方針への対応について 4 より便利な公共交通への改善について
9	にしむら けい 西村 慧	1 本市の人口流出防止、UIJ ターンの促進について 2 市内通学路及び生活道路の安全確保徹底について 3 「甲賀で食べる」と「甲賀流忍者」の観光振興について 4 日本の物流拠点「甲賀」としての展望について	19	たけわか しげくに 竹若 茂國	1 外国にルーツを持つ子どもの支援について 2 甲賀市社会教育における現状について
10	たなか まさゆき 田中 将之	1 アフターコロナを見据えた観光施策について 2 行政手続きのデジタル化を 3 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化について			



QRコードで質問の
録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

戎脇 浩
志 誠 会



Q 水口水源事故から学ぶこと
A 広報を含む事後対応を訓練する

Q 9月17日9時27分の水口水源地の事故は市民の皆様への節水協力もあり、結果として断水に至らずに済んだが、広報のあり方など課題も残った。事故に対して、市民生活への対応は。

水道部長 断水に備え、早期の復旧に努めるとともに、即座に給水の準備に入った。給水体制は周辺市町の応援や職員の出役、病院や工業団地への周知など多方面に対応した。



水道送水管事故現場である、水口第一水源

Q 市民への広報はどのように行ったか。

危機統括監 14時台に該当地域の区長への連絡、17時30分から広報車や音声端末、屋外拡声器等で、節水協力等と呼び掛けた。

Q 情報の遅れが一部混乱を招いた。企業等への先行連絡や給水車の存在等が、不確定な情報流出に繋がった。早期に周知できる工夫が必要。

危機統括監

最悪を想定した準備情報までの発信は躊躇した。現場部門と広報部門の連携の難しさを痛感したことから、その教訓として職員のクライシスマネジメントを高める実践的訓練を行う。

田中 喜克
凜 風 会



Q 仙川に歩行者専用橋の至急整備を
A 重要性に鑑み北仙橋の歩道拡幅で

Q 児童の安全な通学確保のため「歩車分離」の有効性について市の認識は。

建設部長

歩行者の安全確保のため歩道と車道を明確に分離することは大変重要。市の道路整備基本計画に則り、「歩車分離」を目的とした道路整備事業を進めている。

Q 貴生川小児童の毎日の通学は危険と隣り合わせ、早急に仙川に歩行者専用橋の整備を。



登下校児童で混みあう北仙橋

市長 歩行者専用橋の必要性は認識するも、優先すべき他路線整備もあり、まずは北仙橋歩道拡幅で県との協議を進める。

Q 甲賀市の魅力「水、緑多き自然」を守るため率先して取り組むべき、市の環境施策は。

市長

恵まれた自然の恩恵が受けられるようまずは木質バイオマスの促進に力を入れるとともに、他資源の活用に進進事例や専門的な見地からも意見を賜わり、具現化に向け検討を進める。

森田 久生
志 誠 会



Q スクラップ（統廃合）事業の展開は
A 縮小と充実の「縮充」姿勢で進める

Q 当市の未来を担ってくれる子や孫たちに、過度な負担を残すと懸念される最大の要因は。

市長

多くの公共施設の老朽化が進んでいる。現在の施設を全て存続維持するには、約1、110億円の改修更新費用が必要である。積極的な施設の最適化（スクラップ化）が必要。

Q 公共施設を最適化する計画である「甲賀市公共施設等総合管理計画」のポイント。

総務理事

令和38年度までに、公共建物総延床面積の「3割を解体」の削減目標に取り組む。

Q 学校等再編計画の今後の協議の進め方は。

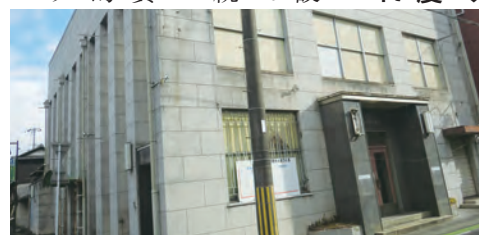
市長

市長部局と教育委員会部局との連携強化を図るため、「プロジェクトチーム」を新設し進める。

Q 前向きなスクラップ事業に取り組む二期目岩永市長のリーダーシップは。

市長

中長期を見据え「決断」の時期と認識している。「信念」を曲げず使命感を持ち取り組む。



前向きなスクラップ事業（縮充）の一環として早期解体が待たれる「kafukaマイスター館」

議員は選挙区内のお祭への寄付や差し入れが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

勲 鵜飼 無所属



Q 行政の説明責任・透明性について
A 反省点を改善し説明責任を果たす

Q 本市における自死者の集計方法。

健康部長 提出された届から死因の「自殺」を集計。

Q 自死者の正確な実態が反映されていない。訂正報告の提供を、国に対し速やかに促す必要は。

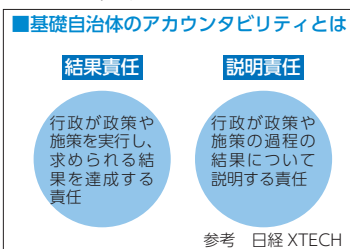
健康部長 県等を通じて要望を行う。

Q セーフコミュニティの再認証を受けないことについて「見直し方針について、令和元年度中に推進協議会や議会に説明する」と答弁されたが。

危機統括監 コロナ禍の中、報告が遅れている。来年1月に協議会開催を調整中で、その会議での意見も併せて議会にしっかり説明を行う。

Q セーフコミュニティの再認証を受けないことの説明責任が果たされていないのでは。

市長 コロナ禍の中で、感染拡大に伴い会議の開催を見合わせざるをえなかった。来年1月に、正式に再認証を受けない決定を行い、今後も安全・安心につながる取り組みを行う。



糸目 仁樹 無所属



Q もみ殻シリカで農家所得増を
A 処理炉の設置コストが高すぎる

Q 通常処理に困っていると言われるもみ殻を適切に燃焼させ生成するもみ殻シリカを販売し、稲作農家へ所得として還元できないか。コンクリートなどの建材も作れるもみ殻シリカの生成処理炉が提案されている。

産経部長 もみ殻シリカ生成に必要な処理炉の設置コストが高すぎて採算が合わない。

Q 甲賀忍者映画の自主制作をする民間活動がある。市として、こうした活動へロケ情報やエキストラ紹介の支援体制を整え、その窓口・拠点をリアル忍者館に設置し、時代劇撮影の聖地に育てられないか。

市長 ロケツリー

ズムに繋がる取り組みとして、ハード面の整備は困難だが、ロケ地情報やエキストラ情報については、より広く発信するためリアル忍者館にその機能を持たせることは可能である。



市で支援したい民間の忍者映画制作と発信

谷永 兼二 凜風会



Q 温室効果ガス排出実質ゼロ宣言を
A 効果的な時期を見極めて行いたい

Q 自治体が気候危機を宣言することで、市民と気候危機を共有し、共に地球温暖化対策に取り組むため、温室効果ガス排出を実質ゼロにする目標や気候非常事態宣言を行うことの考えは。

市長 これらの宣言を表明することで、一体的に環境政策が進められるほか、市民や事業所の方々などの関心を高め、取り組みを推進することが期待できると認識している。

「排出実質ゼロ」を見据えた目標設定をしつかりと定めることが重要であり、「宣言」については、効果的な時期を見極めて行いたい。

Q スケートボードパーク設置の考えは。

市長 必要性は認識しているが、設置場所や費用、維持・管理方法など、また安全面の確保を検討した上で進める必要があると考える。まずは、既存施設を有効活用し、安全・安心に練習ができる場所を確保できるか検討する。



禁止ではなくできる方法を



QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 新人
凜 風 会



Q 行政手続きにおける押印の廃止は
A 見直しに向けて庁内で検討中

Q 本市へ提出される申請書等の押印の見直しは。

総務部長 新型コロナウイルスの感染症の拡大防止視点もあり、申請、手続きのオンライン化による快適性、利便性の向上の観点から全庁的な見直し方針や基準の策定事務を進めている。

Q 市内で農業後継者がいる農家は何人か。

産経部長 約33%にあたる629世帯である。

Q 農業者の平均年齢は。

産経部長 2015年農業センサス結果であるが66・2歳で高齢化が進展してきている。

Q コロナ禍の食料自給率の現状は。

産経部長 カロリーベース38%でコロナの影響で低下している。来年の米、生産調整は、甲賀市で24ヘクタール増加する。

Q 北泉地域の防犯灯設置対策は。

市環部長 自治振興交付金の中に基礎交付金が含まれ、自治振興会や住民の皆様で協議設置検討を望む。



防犯灯設置が望まれる北泉地域

堀 郁子
公 明 党



Q 高額介護サービス費を細分化
A 理想的だが給付と負担の均衡とる

Q 高額介護サービス費の上限額を細分化して使いやすくするため、市から国に提案募集方式で提案しては。ケアマネ業務にAI導入をしては。

市長・健福部長 理想的だが給付と負担の均衡が必要。他の方法もある。提案募集方式は検討。AI活用は国で研究中、実用化なれば入れる。

Q 道路異常通報システムの導入はいかがか。
総政理事 「LINE」での通報システムの導入準備中。次年度区長から活用、その後早急に一般に活用。

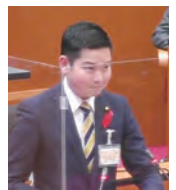


Q 野洲川の橋の橋脚に量水標を設置しては。電柱広告に防災情報をQRコードで提示しては。

建設部長 量水標の設置は県に要望。工事の内貴橋は設置検討。河川の水位が高い時の避難情報は量水標のみを目安にしない。電柱広告は研究する。

Q 使いやすい子育てアプリを導入しては。
こし政部長 ここまあちねつとで双方向を整える。

西村 慧
凜 風 会



Q 若者の同居・近居へ経済的補助を
A 他市町の事例等を踏まえて検討

Q 今後の本市の高齢者介護・子育て環境のさらなる充実に向けて、若者の市内同居・近居定住促進のために経済的補助制度を創設してはどうか。

総政部長 市内企業への就職に伴うUI・IT支援等の検討が必要であると考えており、企業の意見や他市町の事例を踏まえて、検討する。

Q コミパスの「わかりやすさ」の取り組みは。

建設部長 スマートシティ推進事業として、貴生川駅等の主要4乗降場待ち時間や行先等が表示されるデジタル掲示板等を導入する予定だ。

Q 市内IC付近の物流企業団地整備について。

建設部長 「名神名阪連絡道路」構想の実現で、一層期待される地域であり、視野に入れて検討を行う。

Q ジビエ料理の確立等で、「食」を求めて来訪してもらええる仕組みづくりを。

産経部長 獣害対策の一面と名物料理となる期待も十分あり、関係者と検討を行っていく。



市内で提供されている『ぼたん鍋(猪鍋)』

選挙区内の議員に対し、寄付を出すように勧誘や要求をすることは禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

市長 スカレットレガシーによる盛り上がり、市内全域に波及させ、新しい生活様式に対応したマイクローリズムや、新たなロケツーリズム事業など、地域や公民連携で選ばれる観光地を目指し様々なアイデアを出し合い取り組んでいきたい。



忍者ファンに人気のリアル忍者館

Q 今年3月にNHK朝の連続テレビ小説「スカレット」の放映が終わり、本来なら観光客で賑わうはずだったが、コロナ禍の影響で予想と反し、賑わいにはほど遠い結果となった。今後の取り組みとして、マイクローリズムや関係人口を増やすワーケーションや、自宅とは別に、地方などに生活の拠点を構える「多拠点居住」がある。「観光以上、定住未満」である。リアル忍者館もオープンして市の観光施策に弾みがついてきたが、今後、市内全体に波及効果を広げていくための市長の所見を伺う。

Q アフターコロナの観光を問う
A 選ばれる観光地めざし知恵を出す

田中 將之
公明党



Q 家賃などの補助をする国の「結婚新生活支援事業」を導入し、新婚世帯の経済的負担軽減を図る。国の事業内容をみながら検討していく。

教育理事 工事の具体化を図り、早急に整備を進めていく。

Q 土山中央公民館の洋式トイレ整備が進んでいない。以前の質問時には改修に着手するとのことであった。要望も多い。早期に実現を。

健康部長 認知症サポーターの活動を展開し、地域での理解を広げる。現在、認知症疾患医療センター、認知症サポーター医、認知症相談医が整備されており市民に周知していく。

Q 認知症は誰もがなる可能性のある病気であり、認知症になっても安心して暮らせるよう、地域での理解、早期発見・早期治療の医療体制拡充などが必要ではないか。

Q 土山公民館洋式トイレ化の実現を
A 早急に整備を進めていく

岡田 重美
日本共産党



土山中央公民館

Q 市民にとっての利便性向上は。
総政理事 高齢化が進む中、安全・安心に暮らせる社会の実現。効果的で質の高い住民サービスの実現に向け、取り残される人がないように、機器活用支援事業・人材確保等に取り組む。

Q 感染リスク回避での利点と欠点は。
総政理事 オンライン活用は移動の時間とコストがかからず遠方との打ち合わせも効果的。欠点はプライバシーやセキュリティの問題。便利だが留意が必要。財政面でも一定の投資が必要。

Q コロナ禍で行政情報発信に大きな変化があり、オンライン活用などの進展に期待と不安が続く。情報手段の今後の改革方針は。
総政理事 庁内業務では、端末を順次導入定着し、幅広く活用されているが、市民の方々の利用はまだ少ない。テレワークは実施に至っていない。早急に進める必要がある。

Q ICT・オンライン活用促進を
A より便利な暮らしへ取り組み

橋本 律子
凜風会



市民への身近なオンライン化へ



QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

教育長 再編計画については、単に施設の統廃合のみを目的としたものではなく、将来の甲賀市を担う人材育成システムが極めて重要であると認識している。全市の取り組みとして進めていきたい。



3つの学区の児童が学ぶ土山小学校

Q 学校再編計画は変更になったのか
A 着実に進めることは変えない

Q 最近動きが無く、地域のためが最優先されて、計画の本来の目的を見失っていないか。

教育部長 計画は次世代を担う子どもたちに、より良い保育・教育環境を提供することを最優先に制定したものである。今後少子化が進み、避けては通れないと認識している。地域の課題への対応も含めて部局横断的に着実に進めている。

Q 現在市の小学校の中で、学年単位でクラス替えができない学校はどの程度か。

教育部長 市内21小学校中、14校66%である。

Q 教育長に本計画実行に対する本音を、問う。

教育長 再編計画に

土山 定信
凜風会



山中 修平
志誠会



Q 道の駅あいの土山の営業力強化を
A 今できる改善は速やかに進める

Q 指定管理者制度における利益の拡大は。

総務理事 この制度は、公の施設の目標を民間活力を生かし達成することであり、売上や利益の増加は市民サービスの向上につながり、望ましい姿である。

Q 国道1号線のフルマ客を十分確保できているか。

産経部長 新名神の開通後、交通量は減ったが、老朽化した誘導看板や狭い駐車場のため機会ロスがあると見ている。

Q 市として営業強化に資する業務は。

産経部長 道路看板や設置交渉、観光バスの乗り入れ誘客、緊急を要する施設補修などは、市の担当職員が対応する。

Q 「道の駅」の将来への取り組みは。

副市長 社員一同「道の駅」の目的に沿って日々頑張っているが、施設の老朽化と駐車場も狭く、社会ニーズに応えられないので、「道の駅あいの土山再整備基本計画」に取り組み市民の皆様の期待に添えていく。



市唯一の道の駅「あいの土山」

Q 市民参画・協働推進検討委員会は
A 令和3年度末に意見集約を行う

Q 市民参画・協働推進検討委員会から自治振興会と区、自治会、学区区長会等の役割の明確化等の指摘は提言されるまで気づかなかったのか。

総政部長 検討委員会の協議前から認識をしていたが、改めて提言という形で提出いただいた。

Q 地域の広域的な行政課題の解決は、自治振興会の中に、現在の協議会等を位置づけて、同意権や情報発信をすべきではないか。

副市長 地域住民の自治振興会の定着、浸透を図っていく中でその仕組みの構築を検討する。

Q 希望ヶ丘学区まちづくり協議会の動きをどう評価しているか。

総政部長 自治振興会が、エリア内の全戸配布への文書配布や行政情報の提供等住民自治の確立を目指すモデル的な事例と考えている。



希望ヶ丘学区まちづくり協議会だより

林田 久充
凜風会



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

山中 善治
凜 風 会

Q ポストコロナのまちづくりⅡ

A 「新しい豊かさ」がキーワード

Q 「新しい豊かさ」のイメージは。

市長 今般のコロナ

禍で、他の人と比較ができる物質的な豊かさから、自分の感性や価値観を大切にしたい。多様な価値観が認められる「新しい豊かさ」の大切さを多くの方が気づかれたと考える。本市は、豊かな自然を多く残しながらも、大都市への利便性が高く、文化芸術は豊かで、多くの産業も育み「新しい豊かさ」を享受できる地域資源に恵まれていると考えていることから、「新しい豊かさ」をキーワードに進めていくことが重要と考える。



市内某市民農園、中国語並記の案内文

Q 「便利な田舎暮らし」とは。

総政部長

県下で最もICT環境が整い、自然豊かな空間で健康的に暮らしながら、休日にはショッピングや外食など心地よい贅沢な時間や空間を生かしたライフスタイルと考える。

里見 淳
志 誠 会

Q 関係人口を増やすには

A 関係人口創出拡大事業を検討

Q 関係人口について、どのように思うか。

総政部長

「関係人口」とは、地域外の人々が地域の多様な取り組みに関わる人々のことで、コロナ禍における移住ニーズの高まりや、持続可能な地域経営を支える重要な考え方である。

Q 本市における課題について。

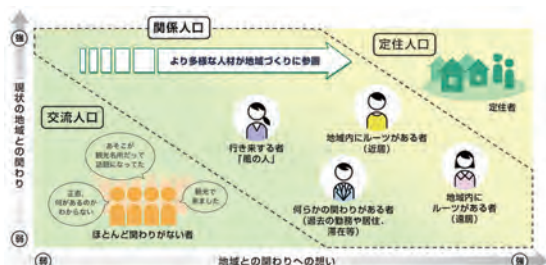
総政部長

様々な課題があるが、地域住民の理解や資金調達、関係人口から定住人口への難しさにあると考える。

Q 甲賀市で活動する若者を増やし、サポートするのには、総務省の関係人口創出拡大事業について検討してはどうか。

総政部長

地域が迎える準備が大事で、市として勉強会開催や基盤づくり、パイプ役となるコーディネーターなど知見者が必要。まずは、試験的な取り組みから始めることを検討する。



総務省 HP から「関係人口とは」

小西喜代次
日本共産党

Q PCR検査の市独自の取り組みを

A 県に一元的・総合的な整備を求める

Q 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市独自の検査体制、市立の医療機関、介護・福祉施設、保育園、学校など集団感染のリスクが高い施設の職員に定期的なPCR検査の実施、同様の民間施設にも定期検査の財政的援助を。

市長

県の一元的・総合的な整備が望ましい。コロナ禍のもと事業の維持、地域経済を持続可能にするための独自の支援策を。

産経部長

事業者に必要な支援策を精査する。国保の県統一化はそもそも無理があり、実際に即した対応方針を県に示すこと。

市長

納付金算定に意見を述べた。

Q 国保税の子どもの均等割りの軽減措置を。

市長

国が見直すことが第一。

Q 信楽高原鐵道に高齢者の無料制度を。

建設部長

他の福祉政策も考えた幅広い検討が必要と考えている。



信楽高原鐵道 信楽町勅旨の西恩寺付近



QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

竹若 茂國
無 所 属



Q 外国籍児童生徒にさらなる支援を
A 日本語・進路指導の充実を図る

Q 外国籍住民の厳しい生活状況への支援は。

総政部長 言葉の壁を超える丁寧な対応と市民として安心して生活ができるよう支援を行う。

Q 将来を担う外国籍児童生徒に十分な教育を。

教育部長 「誰一人取り残さない」ために個別対応や就学案内、進路ガイダンス等により充実を図る。

Q 社会教育は、市民のまちづくりの根幹であり振興計画等が必要では。

教育理事 第3期教育振興基本計画に基づき社会教育を進めている。

Q オール甲賀を進めるためには、市の教育基本計画に基づき、社会教育推進計画等を策定するべきでは。

教育長 地域づくり、家庭教育力の向上、持続的な生涯学習社会の実現に向けて「第3期甲賀市教育振興計画」に基づき、社会教育、生涯学習を計画的に推進する。



甲賀広域行政組合議会

令和2年度

一般会計補正予算等可決

令和2年第5回甲賀広域行政組合議会臨時会が12月25日に開かれ、専決処分の承認1件、条例の一部を改正する条例の制定が1件、令和2年度一般会計補正予算1件が提案され、それぞれ全員賛成で可決、承認いたしました。

専決処分は、人事院勧告に基づく給与引き下げに準じて、広域行政組合職員の一時金を0.05%引き下げるもの。11月中の議会開会が困難なため、専決処分されたものです。

条例改正は、近年、電気自動車に搭載される電池の大容量化に伴う自動車等の充電を行う使用実態を規定しようするものです。山岡光広議員から現施設数や火災予防上のリスク、今後の指導の考えについて質疑がありました。

補正予算は、人件費の補正、清掃手数料収入の減、地方債の補正、契約額の確定による事業費補正が主な内容でした。議会終了後、納車された救助工作車の披露がありました。



納車された救助工作車の披露

カメラの



年の暮れから初めに掛けて、市内各地を真っ白な雪が彩りました。外では子どもたちが、「雪だるま」づくりなど、元気に雪あそびを楽しんでいました。令和3年もすべての市民の皆さんにとって、明るく元気で健康な年でありますように。(写真撮影 西村 慧委員)



訂正とお詫び

11月1日付で発行いたしました前64号の記事で、以下の記述に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

P11 特別委員会報告 議員政治倫理条例の制定年月の誤り

訂正前「平成25年9月に制定しました」

訂正後「平成30年12月に制定しました」

P12 総務常任委員会 市行政区の一部変更の記事の、地名の記述誤り

訂正前「希望ヶ丘区」「希望ヶ丘本町区」「希望ヶ丘学区」

訂正後「希望ヶ丘区」「希望ヶ丘本町区」「希望ヶ丘学区」

議会の傍聴ができます。

本会議と委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。

3月議会の予定

2月18日 9時30分～

本会議(第1日)議案上程・提案理由説明

3月2日 9時30分～

本会議(第2日)会派代表質問

3月4日 9時30分～

本会議(第3日)議案審議

3月8日 9時30分～

本会議(第4日)一般質問

3月9日 9時30分～

本会議(第5日)一般質問

3月10日 9時30分～

本会議(第6日)一般質問

3月11・12・15・16

17・18・19・22日

9時30分～

各常任委員会

3月26日 9時30分～

本会議(第7日)最終日

2月						
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月						
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



オンライン

議会だよりダイヘンシン!!

高モ二会議パートⅡ

水口
高校編

昨年より始まった高校生の方に議会だよりについてのご意見を聞かせていただく、高校生モニター会議(通称・高モ二会議)パートⅡを開催しました。

今回も、高校生の方の斬新なアイデア、するどい意見、真剣な表情に、広報担当議員みんなが感動し、刺激を受けました。

高モ二会議の様子をご紹介します。



議会だより どんなのがいい?



街の写真や景色を増やしては

文字数を減らし、イラスト多くしては
子どもや中高生向けの
記事をのせては

赤ちゃんが生まれました!
などの記事をのせて、子育てに
力を入れていることをのせては

読む気にならない大きな理由は
書いていることが難しく、わからない
言葉の意味をのせたら

議会だよりに目を
向けていきたい

学校に配ったら

少し注目していこうかな



ちょっときいてよ

意見

私たちの声



意見

- SNSで若者の情報を発信して
- バスや電車の本数を増やして利便性を高めて欲しい
- 道路をきれいにしたい
- 遊園地や私立大学の誘致をして、町が栄えたら良い
- 市の政策を深く考えることができた。
- 理想を見つづ現実を見ることが大切。
- たくさん疑問を抱えて意見を出せる人間になりたい。
- 議員目線の意見を直接聞けてよかった。一市民の見方や考えを増やしていきたい。
- 議会についてしっかり学べた。



水口高校生徒会の活動紹介

トイレの改修

生徒会の皆さんでトイレ改修のデザインをされました。テーマはジェンダーフリー。美術部と連携し、男女差を出さず、区別がわかるようなトイレマーク。床や壁材の選びから、木目調のドアにいたるまで、あたたかみのあるデザイン。色もジェンダーフリーにされたそうです。

楽しみですね！

アンケート結果

水口高生27人に聞きました。

市議会のことについて

- 市議会だよりについて
 - ✓ 知らなかった 16人
 - ✓ 読んだことがなかった 6人
- 市議会のことについて
 - ✓ どんな議員がいるか 知っている4人
 - ✓ いつ議会が行われているか 知っている2人
 - ✓ 市議会の議場がどこにあるか 知っている7人

どんなメディアから情報を得ていますか？

新聞	2	フリーペーパー	0
テレビ	17	インターネット	11
ラジオ	1	SNS	16
雑誌	0	その他	0

SNSで使っているものは？

LINE	24	フェイスブック	1
インスタグラム	23	ツイッター	15
その他	0		



水口高校のみなさん



今回の高モ二会議は、密を避け、議員も半数はオンラインで参加など、工夫して開催しました。水口高校生徒会の皆さんが、事前学習を行っていただいたり、甲賀市を理想的な街にとのご意見に、こちらもしっかりとさせられました。水口高校生徒会の皆さん、ありがとうございました。

あなたとつなぐ

市議会議員紹介

vol.11

市民のみなさんに市議会議員を身近に感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をクローズアップしていきます。

にし むら けい
西 村 慧 甲南町在住

Q 議員を志したきっかけは？

全世代が住みよく活気ある甲賀とする為、責任を持って「若者の声」を届ける。

Q 議員になって感じたことは？

「執行機関のチェック」と「政策の提案」において、言動に対する責任の重み。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

現状の課題解決はもちろんのこと、その先の未来を見据えて行動する。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

結果だけでなく、原因や過程を踏まえて、一つひとつと向き合う。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

江戸時代からの建造物「寺庄六角堂」。春を彩る「鮎河千本桜(うぐい川)」。



た なか あら と
田 中 新 人 水口町在住

Q 議員を志したきっかけは？

国内、海外研修で学び議員になり市役所と地域のパイプ役になろうと思いました。

Q 議員になって感じたことは？

地域のために活動する人たちと一緒に、自分自身も成長することができました。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

市民目線に立って身近な議会、開かれた議会の実現を目指しています。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

市民の皆様の声を十分にお聞きし、市政の発展に尽くして参ります。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

参勤交代で対岸の渡し場の目印として東海道随一の規模を誇る横田渡常夜灯。



つち やま さだ のぶ
土 山 定 信 土山町在住

Q 議員を志したきっかけは？

先輩議員から強い要請があり、私は皆さんの立場を代弁できると。

Q 議員になって感じたことは？

皆さんが政治離れしているようで、恐怖を感じます。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

採決は皆さんの意思決定の代理の1議席であると意識している。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

どうしても皆さんに伝えたいことは「さだのぶ新聞」に。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

市道で山女原を通過して県境から、徒歩で少し登ると、伊勢湾の船が見えます。



編集後記

▶ 木枯らしが吹きささぶ頃となりました。「議会で何を議論しているのか」「議員は何をしているのか」全てをお伝えすることはできませんが、議会としても、工夫しながら「伝える」努力を重ねていく必要があります。▶ 今回は、水口高校の生徒会の皆さんとオンラインで高校生の視点から将来の甲賀市について意見交換を行いました。明るく元気な皆さんと交流ができ、広報委員としても大変有意義な時間でした。

▶ コロナ禍の中、巣ごもり状態で自分を見つめる時間が増えています。今現在、厳しい状況は続いています。心だけでも、周りを思いやる温かみを持ち過していきたいと思っています。
(広報特別委員長 田中 新人)